

調査項目 ③「公園遊具の安全対策」に関する調査研究

調査年次 令和元年度（11次調査）

目的

近年、遊具の安全確保の重要度が高まっているが、提案都市では、新しく設置する遊具については、JPF Aの規準に適合した製品であることを条件とし、指針や規準の策定前に設置したものやコンクリート製遊具など規準のないものの取扱いが課題となっている。そこで、各都市の遊具の安全対策について事例を収集し、現在の基準に適さない遊具の安全対策についても調査し、公園遊具の安全対策について検討することを目的とした。

概要

以下の内容について調査を行った。

- ①公園遊具の安全確保における実態の把握
- ②「規準」に適合していない遊具の取扱いの把握
- ③現場打遊具の取扱事例調査
- ④公園遊具の安全対策に関する留意事項に係る考察

結果

- ①各都市の遊具の安全点検方法やマニュアルの有無などについて、安全点検など設置・更新時の考え方の整理や、ハザードへの対応等維持管理における安全対策の状況調査などの実態を把握した。
- ②人研ぎの遊具などの現在基準に適していないコンクリート製遊具などの設置の状況や安全点検、修繕の方法などについて把握した。
- ③現場打遊具の取扱事例について、設置状況や修繕。改修等の実施事例調査、企業等へのヒアリングを行った。
- ④実態把握、事例調査、ヒアリングなどによる検討を踏まえ、公園遊具の安全確保の課題を整理し、ハザードへの考え方や、安全を確保できる修繕方法などに関する留意点について考察した。

まとめ

課題としては、日常点検と定期点検の方法が各都市でばらつきがあり、実施すべき点検の内容はどの程度が良いのか、点検結果の判定の出し方も各都市で違うことなどが挙げられた。コンクリート製遊具の安全対策は、基準に合わせた遊びの価値を失わない改修や新設の方法の研究が必要であることが課題として挙げられた。

調査結果の反映等

キーワード

コンクリート製遊具、安全確保、安全点検、修繕

事例公園等